令和6年度第2回地域密着型サービス事業運営推進会議議事録

（はなみずき石鳥谷分）

１　開催日時　　令和6年7月26日（金）　13時30分～14時10分

２　開催場所　　特別養護老人ホームほうじゅの郷　会議室

３　出席者

　　　　　　〇運営推進委員

　　　　　　　　　川村　明（地域民生委員）

　　　　　　　　　高橋　誠（市民サービス課長）

　　　　　　　　　菊池知子（石鳥谷地域包括支援センター管理者）

　　　　　　　　　宮森寿人（はなみずき石鳥谷家族の代表）

　　　　　　〇事務局（施設職員）

　　　　　　　　　小原秀幸（施設長）

　　　　　　　　　小野寺邦枝（はなみずき石鳥谷主任介護職員）

４　欠席者　　　川村和生（地域住民代表）

５　協議内容

1. 施設見学
2. 事業の進捗状況
3. 身体拘束に関する事項について（身体拘束適正化委員会）
4. 事故等に関する事項について

６　会議の経過

　　　　　13時30分、小原施設長は運営推進会議の委員のうち地域住民代表の川村和生委員の欠席を報告し、他の委員が出席していることを確認して開会を宣言する。

小原秀幸　　本日はお忙しい中ご出席をいただき誠に有難うございます。

　　　　　　　日頃から当施設の事業運営につきましては格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

　　　　　　　今回の運営推進会議は、事業所ごとに分けて開催することとし、主に施設を見学していただいて、委員の方々から率直なご意見を伺う機会としたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

　小原秀幸　　それではこれよりはなみずき石鳥谷の協議に入り、早速施設見学とさせていただきます。

　　　　　　　　　－　はなみずき石鳥谷に移動して施設見学を行う　－

　小原秀幸　　それでは、施設を見ていいただいて、様々な感想や疑問があったと思いますので、委員の方々からのご発言をいただきたいと思います。

　川村　明　　綺麗にしているなという印象です。

　　　　　　　お部屋には防災頭巾がありましたね、訓練を行っているんですね。

　小原秀幸　　年２回の避難訓練を行っております。そのうち１回は10月に開催する総合避難訓練で、消防署の指導を仰ぎながら地元消防団、婦人協力隊、地域住民等と合同で開催しております。今年度も企画しますのでご協力をお願いいたします。

　　　　　　　高橋課長様の印象は如何でしょうか。

　高橋　誠　　ちょっと壁紙が傷んできているように感じましたが、よく整理されていて清潔さが感じられました。

　　　　　　　女子トイレの手すりが便座から離れすぎているように見えましたが、あれはどういう理由ですか。介助する方への配慮ですかね。

　小野寺邦枝　実際のところ、職員としても不自由さを感じるところは持っております。ただ、車椅子の方が掴まるように出来ているところもありますので、それなりな介助の仕方をしております。

　小原秀幸　　建設時にも十分に検討されて作られたわけですが、月日が経って入居者の状況も変わってきているいうところもございますから、現状にあった設備の見直しも必要になっていると思っております。

　　　　　　　宮森様は如何でしたか。

宮森寿人　　事業報告の中で、新緑ドライブをされたと書いておりましたので、その時の写真とかが廊下などに貼ってあっても良かったのかなと感じました。認知症の施設という観点からも思い出の1ページとして入居者の方が見て思い出させたりすることもあってもいいんじゃないかなと思いました。

小原秀幸　　有難うございました。以上で施設見学については以上といたします。

　　　　　　次に施設の進捗状況等について事務局から説明をお願いいたします。

小野寺邦枝　資料に基づいて説明をする。

小原秀幸　　只今の説明について、委員の方からご質問等ございませんか。

　　　　　　特に無し

　小原秀幸　　無いようですので次に移ります。

　　　　　　　身体的拘束に関することについて及び事故等について、続けて説明をお願いいたします。

　小野寺邦枝　身体的拘束に至る事例はございません。

　　　　　　　事故等については資料のとおりですが、1件目はトイレ使用中での転倒があり行政への報告対象となりました。2件目は居室にてベッドからずり落ちていたもので、外傷等もなかったケースです。いずれも再発防止のための対策を講じ、現在は落ち着いている状況です。

　宮森寿人　　トイレでの事故は職員が介助している状況でのことですか。

　小野寺邦枝　用を足すために便所へ連れて行き、衣類を下げて便座に座ったことを確認し、その場から少し離れた時の出来事になります。

　小原秀幸　　プライバシーへの配慮ということもありますので、その隙間に起きた事故ということです。

　　　　　　　その他に何かございませんか。

　　　　　　特になし

　小原秀幸　　本日準備した資料は以上となりますが、情報交換を含めて委員の皆さんからのご発言をお願いします。包括の菊池様如何でしょうか。

　小原秀幸　　グループホームの待機者はどのくらいですか。

　小野寺邦枝　10名程度です。

　小原秀幸　　地域の方々で認知症のグループホームをご利用されたいという方々はどのくらいいるのでしょうね。包括さんからの情報提供はございませんか。

　菊池知子　　認知症のケースも数多くありますが、なかなかサービスに繋がらなかったり、認知症だと認めない、認めたくない家族様もいたり、経済的な理由があるなど、もう少し認知症に対する理解とか皆で支える体制とか雰囲気づくりができるようなものがあればいいように思います。

　小原秀幸　　地元のところでの認知症に関して困っているようなところはありませんかね。

　川村　明　　この辺では特に困っているというような話は聞こえてきません。私の場合、独居か高齢夫婦世帯が見守りの対象となっておりますから、その他の家族世帯については分からない事が多いです。独居や高齢世帯でも周りの方々も気にかけて下さっていますので、今のところ、大きな問題になっていることはないと思います。

　高橋　誠　　時々認知症の方が歩いていて、警察や消防の方に保護されることはあるようですが、行政として認知症の方の困っていることへの対応とか対策として取り組んでいるということは特にないですね。

　宮森寿人　　認知症の方を家族で抱えていると、仕事にも地域活動においても様々と制約が出てきたりしますよね。家族もそうなりたくないので、認知症の親がいるっていうことを隠したりする例もあるようですね。50歳代の働き盛りの場合だと、家族のために休んだりしていくと昇進とか給料にも響いてきますよね。そういう社会であってはいけないとは思いますが、現実的には上手くいかないことの方が多いと思いますよ。

　小原秀幸　　一方で働き方改革といって休むことを推奨している訳なんですが、もう少し働きやすいとか家族や福祉に優しい社会になっていただきたいものですね。

　　　　　　　それには人材不足の中で福祉人材を確保しなければならないということにもなります。

　　　　　　　先般、外国人雇用の採用に関するセミナーがありまして、技能自習の受入れと違って、留学生として学校に入学し、日本語と介護福祉士の資格を取るために3年間は勉強して、無事に資格を取れたら、施設に雇用され数年間は勤め上げるという制度のお話で、実績も多くなっているようです。

　　　　　　　技能実習だと人材や国によって様々な格差があり問題になるケースもありますが、留学生の制度だと語学を学びながら日本の風習や生活に慣れることができ、学生中にアルバイトで施設で働きながら雇用する前からコミュニケーションをとるなどの工夫によって、割と大きな障害とか抵抗もなく雇用に繋げられるメリットがあるようです。

　川村　明　　予算はどのくらいかかるものなのですか。

　小原秀幸　　一人当たり175万円ぐらいで3年間にわたり分割で支払うことになりますが、県の補助金が55万円ほどございますので、実質125万円くらいとみております。学習の費用は岩手県社会福祉協議会の奨学金制度を利用するもので、岩手県で一定の期間働けば学費は免除になるシステムになっています。

　川村　明　　先行投資ということですかね。

　小原秀幸　　仰る通りです。

　　　　　　　派遣職員をそのまま採用する場合でも、年収予定額の20～25％を紹介料として支払いが発生しますので、これと比較しても大差変わりありません。将来的な伸びしろなども考慮すると、人材確保として悪い策ではないと思っているところです。

　　　　　　　その他、何かございませんか。

　　　　　　　特になし

　小原秀幸　　特にないようなので、以上をもってはなみずき石鳥谷の運営推進会議は終了といたします。

　　　　　　　大変、お疲れさまでした。

　　　　　　　引き続き、ほうじゅの郷の会議を、準備が整い次第始めますので暫くお待ちください。

閉会　　14時10分

議事録作成者

社会福祉法人宝寿会事務局

特別養護老人ホームほうじゅの郷

はなみずき石鳥谷

施設長　小　原　秀　幸　　　　㊞